

「ラチャパットの日本語教育を考える会」によるラチャパット大学開講科目調査

春野 愛、東野 佳与、花井 慎行

1. はじめに

「ラチャパットの日本語教育を考える会」では2002年より日本語科目を開講するラチャパット大学を対象に開講科目調査を実施している。ラチャパット大学は2003年まで全ラチャパット大学共通のカリキュラムを使用していたが、2004年の独立法人化以降、各ラチャパット大学が独自でカリキュラムを作成できるようになった。

本稿では、調査開始から2008年までの実施状況及び調査結果、ラチャパット大学における日本語開講科目の変遷を報告する。

2. 「ラチャパットの日本語教育を考える会」について

2.1 ラチャパット大学

ラチャパット大学（以下、RU）は、タイ全国に40校ある地域総合大学である。以前、RUは教育省管轄の「ウィタヤライ・クルー」と呼ばれる教員養成カレッジであったが、1984年の教育大学法の改正で学部が増設され、「ラチャパット・インスティテュート（RI）⁽¹⁾」と呼ばれる地域総合大学となった。さらに、2002年の省庁再編で大学庁と教育省が統合されたことにより、他の総合大学と同様に教育省の管轄で運営されることとなり、現在の「ラチャパット大学（RU）」に至る。

RUにおける日本語科目の開講は1985年、チェンマイ RU、プラナコンシーアユタヤ RU で観光学科の選択科目として開講されたのが始まりである。現在は12校のRUで日本語専攻が開かれており、その他にも10校以上で副専攻、20校以上で日本語の選択科目が開講されている。

2.2 ラチャパットの日本語教育を考える会

「ラチャパットの日本語教育を考える会（通称：ラチャ会）」は、RUの日本語教育関係者が情報交換できる場が欲しいという要望を受け、2001年7月、チェンマイ RUで開催された「ラチャパットの全日本語教師のセミナー」を機に発足した。

以後、ラチャ会はRUにおける日本語教育の質の向上や日本語教師同士の交流、情報交換を目的とし、年2回、総会及びセミナーを開催している。現在、ラチャ会にはRUをはじめ、他大学、中等教育機関、語学学校等、さまざまな機関の日本語教師が参加しており、会員数は64名（2009年3月現在）である。

3. 開講科目調査の開始経緯と目的

2001年9月から活動を開始したラチャ会運営委員会は、第2回ラチャ会総会を2002年6月に控え、2月に「2001年度ラチャパット日本語プログラム・カリキュラムアンケート」を発送した。

アンケートの依頼には、調査目的として、「ラチャ会運営委員会が各ラチャパットにおける日本語教師の状況を把握すること」と「第2回ラチャ会総会において新人教師に情報を提供すること」とある。その理由として、「ラチャパットはタイ全土に点在し、全体の現状を把握することは容易ではないが、全体を把握することで、各校の比較、問題点の共通化が可能になると思われる」とことと、「ラチャパットは日本語教師（特に日本人教師）の移動が激しく、新人教師に対し赴任校の日本語教育状況に関する情報提供がほとんどなく、スムーズに授業に入れない。そうした教師の参考にするため」ということがあげられている。

この時の調査項目は、1) 大学に関する基本データ、2) 日本語講座、設備に関する基本データやコメント、3) 来年度より勤務する新日本人教師の住宅、4) 授業、学生、学校、その他の問題点についてである。これを同年2月末締め切りで回収し、6月の総会に向け集計を行った。

なお、本調査は、第1回から「カリキュラムアンケート」という名称を使っていたが、現在は「開講科目調査」となっている。もともとは、各RUのカリキュラムに関する情報を集め、交流や情報交換があまりなかったRU間での日本語教育の進展に役立てようとする意図であった。しかし、詳細なカリキュラムやコースシラバスの収集は難しく、上の1)、2)のデータを中心に調査を続けてきた。そのため、より実情に近い名称ということで、2006年度の調査から「開講科目調査」という名称にしている。

4. 開講科目調査について

4.1 2002年～2008年の実施状況

2002年の調査開始から現在までの調査時期、調査対象年度ならびにアンケートの回答数は以下の通りである（表1参照）。なお、2006年以降は、前年度の後期から前期にかけての1年間を調査対象年度としているため、2005年前期の開講科目は調査されていない。

表1 2008年前期までの調査状況

調査対象年度	調査時期	回答数
2001年前期～2001年後期	2002年02月	19校（2校*）
2002年前期～2002年後期	不明	18校（2校*）
2003年前期～2003年後期	2004年12月	16校
2004年前期～2004年後期	2005年12月	14校
2005年後期～2006年前期	2006年11月	19校（3校*）

2006 年後期～2007 年前期	2007 年 10 月	21 校 (1 校*)
2007 年後期～2008 年前期	2008 年 11 月	21 校

(*分校の数)

4.2 調査方法

調査開始から 2005 年までは、日本語を開講している全ての RU にアンケートを郵送し、回答後、返送していただくという方法で行われたが、2006 年度は、紙面と WEB の 2 つの方法で行われた。2007 年度及び 2008 年度は、ラチャ会会員が赴任している RU には E-mail で、ラチャ会会員が不在の RU には郵便でアンケートを送付し、調査を依頼した。

また、2007 年までのアンケートは日本語のみであったが、2008 年度はタイ語のアンケートも作成し、タイ人日本語教師にも回答していただけるよう配慮した。

4.3 調査項目

2002 年度の調査項目は、機関情報（基本情報、日本語教師数）、日本語科目の開講状況及びカリキュラム（クラス数、履修人数、使用教科書等）、日本人教員の住宅事情、問題点の 4 つであったが、近年は開講科目に焦点を当てており、「教員・学生数」と「カリキュラム（科目名、使用教科書、問題点等）」の 2 つのみである。

4.4 公開方法

アンケートの集計結果及び分析結果は、毎年 1 月に開催されるラチャ会の総会で報告し、アンケート協力者には E-mail にて調査報告書を送付している。また、アンケートの集計結果及び報告書は、閲覧資料として、国際交流基金バンコク日本文化センターで保管していただいている。

5. 2002 年～2008 年の日本語開講科目調査結果

以下の表 2～5 は、2001 年前期から 2008 年前期までの日本語開講科目名⁽²⁾を学期別⁽³⁾にまとめたもので、1) 主専攻、2) 副専攻、3) 選択（観光学科）、4) 選択（観光学科以外）の 4 つに分類している。

表 2 2002 年～2008 年 主専攻開講科目

	1 年生		2 年生		3 年生		4 年生		回答
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
2001	科目名の調査なし								3 校
2002	日本語 1 会話 1 聴解 1 日本事情	日本語 1,2 漢字 会話 2 聴解 1	日本語 2,3 会話 3 聴解 2 読解 1	日本語 2,3 会話 2,4 読解 1,2	日本語 4,5 会話 5 作文 1 読解 3 日本事情	日本語 5,6 会話 6 作文 2 読解 2,4 観光 1 翻訳 1 秘書	作文 3 読解 5 観光 2 翻訳 2 構造 1 日本事情 ビジネス 教授法	会話 6 ビジネス 実習	3 校

2003	日本語 1 漢字 会話 1 日本事情 1	日本語 1,2 会話 1,2 聴解 1 作文 1	日本語 2,3 会話 2,3 聴解 2 作文 1,2	日本語 3,4 会話 3,4 作文 1,2 読解 1 翻訳 1 日本事情 1	日本語 4,5 会話 4,5 読解 1,2 翻訳 1,2 日本事情 1	日本語 5,6 作文 1,2 読解 2 観光 1 翻訳 1 秘書 実習準備	日本語 6 作文 2 読解 翻訳 2 観光 2 ビジネス 教授法 日本文学 実習準備	会話 6 ビジネス 教授法 実習	4 校
2004	日本語 1 漢字 会話 1 日本事情 1	日本語 2 漢字 会話 1,2 聴解 1	日本語 3 会話 1,2,3 聴解 1,2 作文 2 読解 1,2	日本語 4 会話 2,4 作文 1,2 読解 1,2,3 日本事情 構造 1	日本語 5 会話 5 作文 1,2 読解 1,3 日本事情 翻訳 1 観光 1	日本語 6 会話 6 作文 1,2,3 読解 2,4 翻訳 1 観光 1,2 現代 日本文学	作文 2 読解 2 構造 1 翻訳 1,2 観光 2 翻訳 1 ビジネス 教授法 実習準備	会話 6 ビジネス 実習	8 校
2005 ～ 2006	日本語 1 会話 1,2 音声会話 入門	日本語 2 漢字 1,2 会話 2 聴解 2 サマー 日本語 3 聴解 1 作文 1 読解 1	日本語 3 会話 3 聴解 2	日本語 4 会話 2,4 作文 1,2 読解 1,2	日本語 5 会話 3,5 作文 1 読解 2 日本文化 日本事情	日本語 6 会話 4,6 作文 2,3 観光 1 翻訳 1 日本文学 の歴史	聴解 2 観光 2 翻訳 2 ビジネス 教授法 現代 日本文学		9 校
2006 ～ 2007	日本語 1 漢字 会話 1 聴解 1 聴解会話 1 読解 1 音声会話 入門 日本事情	日本語 2 漢字 2 会話 1,2 聴解 2 聴話初級 1 日本事情	日本語 3 漢字 4 会話 2,3 聴解 1,2 作文 1 聴話初級 2 日本事情 1	日本語 4 会話 4 聴解 2 作文 2 読解 1,2	日本語 5 漢字 5 会話 5 聴解 2 作文 1,2,3 読解 1,2 翻訳 中級会話 日本事情 1,2 日本文学 日本文学 史構造 1	日本語 6 会話 6 聴解 2 作文 1,2 観光 1 翻訳 日本事情 構造 2	聴解 1,2 作文 2 翻訳 観光 1,2 ホテル ビジネス 教授法 職業訓練 用日本語 Modern Japanese Literary Work	教授法	10 校
2007 ～ 2008	日本語 1 漢字 1 会話 1 聴解 1 聴話 1 読解 1 音声会話 入門	日本語 2 会話 2 聴解 聴話 読解 1,2 日本事情 1	日本語 3,4 会話 1,2,3 聴解 1 聴話初級 2 作文 1 読解 1,2 構造 1 日本事情	日本語 4,5 会話 1,3,4 聴解 1,2 ビジネス 聴解 1 作文 1 読解 1,2 日本事情 日本語 言語学	日本語 5 漢字 会話 5 中級会話 1 聴解 1,2 聴話中級 2 作文 1,2 読解作文 読解 1,2,3,4	日本語 6 漢字 6 会話 2,5 聴解 2 作文 1,2,4 読解 2,4 翻訳 通訳 観光 ホテル	日本語 4,5,7 会話 6 中級会話 2 作文 2,5 翻訳 通訳 2 観光 1,2 ビジネス 教授法	観光 ホテル ビジネス 日本事情 1,2 日本文学 実習準備	10 校

		サマー 日本語 3 作文		サマー 日本語 6 漢字 2 会話 4 読解 2	翻訳 (日タイ) 観光 1 構造 1 日本事情 日本史 日本語 教育	ビジネス 日本事情 1,2 日本文学 実習準備 サマー 聴解 2 作文 2	日本文学 1,2 実習準備		
--	--	--------------------	--	--------------------------------------	---	--	---------------------	--	--

表 3 2002 年～2008 年 副専攻開講科目

	1 年生		2 年生		3 年生		4 年生		回答
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
2001	科目名の調査なし								9 校
2002	日本語 1	日本語 1,2	日本語 1,2,3 会話 1	日本語 2,3,4 会話 1,2	日本語 3 会話 1,2,3 読解 1 教授法 ビジネス	日本語 4 会話 3 作文 1 読解 1,2	会話 4 読解 1 観光 1	会話 2 作文 1 読解 2	6 校
2003	日本語 1	日本語 1,2	日本語 1,2,3	日本語 2,3,4 会話 1 聴解 1	日本語 3,4 会話 1,2 読解 1	日本語 4 会話 3 作文 1 ビジネス 教授法	会話 4 読解 1 実習準備	作文 1 読解 2	4 校
2004	日本語 1	日本語 1,2	日本語 1,2,3 会話 1	日本語 2,3,4 会話 1,2 読解 1	日本語 3,4 会話 1,2,3 読解 1 日本語の 用法	日本語 4 会話 2,3,4 作文 1 読解 1 ビジネス 教授法	会話 4 作文 1 読解 1,2	作文 1 読解 2 実習準備	7 校
2005 ～ 2006		日本語 1,2	日本語 1,2,3 会話 1	日本語 2,3,4 会話 1,2	日本語 3,4 会話 1,2,3 読解 1	日本語 4 会話 2,3 読解 1 作文 1	作文 1 読解 2 観光		3 校
2006 ～ 2007	日本語 1	日本語 1,2	日本語 1,2,3 会話 1 読解 1	日本語 2,4 会話 1 漢字 2	日本語 2,3,4 会話 1,2,4	日本語 3,4 会話 3 漢字 4	日本語 3,4 会話 1,3 作文 1 観光 1	作文 1 読解 1	9 校
2007 ～ 2008		日本語 1,2 サマー 日本語 2 読解	日本語 1 会話 1,4	日本語 1,2,3 漢字 会話 1,2,3 聴解 観光	日本語 1,2,3,4 会話 2 読解 1	日本語 4 会話 3 読解 2 サマー 日本語 2 聴解 1		作文 観光	10 校

表4 2002年～2008年 選択（観光学科）開講科目

	1年生		2年生		3年生		4年生		回答
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
2001	科目名の調査なし								8校
2002	日本語1	日本語1,2	日本語1,2 会話1	日本語1,2	会話1,2 観光1	会話2 観光1,2	観光1,2		9校
2003	日本語1	日本語1,2	日本語1,2 会話1	日本語2 会話1,2	会話1 観光1	中級会話1 観光1,2 特設	中級会話2 観光1,2	中級会話2 観光2	13校
2004	日本語1	日本語1,2	日本語1,2 会話1	日本語2 会話1,2	会話2 観光1	観光1,2	観光2	観光2	13校
2005 ～ 2006	日本語1	日本語1,2	日本語2,3 会話1	日本語2,4 会話1	日本語5 会話2	日本語2,6 観光1 その他1	会話2 観光1,2 作文 その他2		10校
				サマー 会話1 観光		サマー 会話1,2			
2006 ～ 2007	日本語1	日本語1,2	日本語 1,2,3	日本語2,4 会話1,2	日本語5 会話2 観光1	日本語6 観光1,2	観光2		16校
				サマー 会話1,2		サマー 日本語 3,5,6 観光1,2			
2007 ～ 2008	日本語1,2 会話1	日本語1,2	日本語2 会話1,2	日本語3,4 会話1,2	日本語1,2 会話1,2 観光1	日本語4,6 観光1	観光1,2	観光1,2	12校
						サマー		サマー	
						日本語 1,2,3,4		日本語5	

表5 2002年～2008年 選択（観光学科以外）開講科目

	1年生		2年生		3年生		4年生		回答
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
2001	科目名の調査なし								12校
2002	日本語1	日本語1,2	日本語 1,2,3 会話1	日本語2,4 会話1,2	日本語3 会話1,2	日本語4 会話1,2 観光1	会話1,3 観光2	会話2	13校
2003	日本語1	日本語1,2	日本語1,2	日本語1,2 初級会話1 特設	日本語2 初級会話2	日本語2,3 会話1 中級会話1	日本語4 会話2		10校
2004	日本語1 アジア語	日本語1,2 コミュニケーション アジア語	日本語1,2	日本語1,2 会話3	中級会話1 ビジネス	会話2 観光1	観光1		13校
2005 ～ 2006	日本語1	日本語1,2 コミュニケーション	日本語1	日本語1,2	日本語 2,3,4 中級 日本語1	日本語3	日本語3,4		6校
		サマー							
		日本語1							

2006 ～ 2007	日本語 1	日本語 1	日本語 1 コミュニケーション	日本語 1	日本語 1,2	日本語 2,3	中級会話	会話 2	7 校
2007 ～ 2008		日本語 1 コミュニケーション	日本語 1,2 会話 1 Japanese for Socio- Cultural Communi- cation	日本語 2,3 Japanese for Socio- Cultural Communi- cation	日本語 1 観光	会話 1	日本語 2,4 会話 2	日本語 1,3	9 校

以上のコースの他にも、「GEED」と呼ばれる教育学部学生を対象とした半期のコースや、「自由選択」「全学共通選択科目」として位置づけられる半期のコースがある。

6. 独立法人化以降のカリキュラムに見られる傾向

2004 年の独立法人化以降、各 RU が独自のカリキュラムを作成できるようになった。これを受け、主専攻では、新科目の採用や科目の統合等、新カリキュラム作成に積極的に取り組む RU が見られるようになった。しかし、年によって開講科目や履修時期に異なりが見られることから、カリキュラムの改訂が今なお移行段階であることが分かる。

一方、副専攻、選択の開講科目に大きい変化は見られず、旧カリキュラムを引き続き使用している RU が多いことが分かる。

7. 今後の展望

ラチャ会には決まった事務局がないため、ラチャ会の資料やデータ等は運営委員によって管理され、引き継がれている。しかし、本調査は年に 1 回のみで、運営委員の入れ替わりが激しい等の理由から、次年度の運営委員にうまく引継ぎが行われず、年によって調査方法や調査項目が異なっている。本調査をより良いものにしていくためにも、調査の目的や意義、調査方法を運営委員がしっかりと引き継ぎ、多くの RU に協力していただけるよう、運営委員一人一人が各 RU の日本語教師に調査の意義を伝え、協力を呼びかけていく必要がある。

また、ラチャ会の総会では、開講科目及び使用教材のみを報告しているが、その他の調査結果もラチャ会全体で共有できるよう、より良い閲覧方法を検討するとともに、会員同士が意見交換できる場を設けることが今後の課題である。

8. おわりに

本調査は、ラチャ会が RU における日本語教育の現状、カリキュラムの変遷を把握することを目的に独自に行っているものであるが、このような機会を利用し報告することで、カリキュラム

の改訂や RU の日本語教育の現状把握に役立てていただければ幸いです。

最後に、貴重な時間をさいてご協力くださった RU の先生方に感謝申し上げるとともに、本調査が今後も続けられ、より有意義なものになることを願う。

注

- (1) 厳密な時期を考慮した区別が難しいため本文中では、RI を含め RU と表記する。
- (2) 文法科目として「基礎日本語」「初級日本語」「入門日本語」等の科目名があったが、本稿では「日本語」で統一する。
- (3) タイの大学は、6～9 月が前期、11～2 月が後期、3～5 月が夏休みとなっており、サマーコースは夏休み中に開講される。

参考文献

- 青沼国夫、佐々木史（2002）「ラチャパット日本語教育セミナーの報告」『国際交流基金バンコック日本語センター紀要』第 5 号、pp.131-148
- 岡崎敏雄（1991）「コミュニケーション・アプローチ-多様化における可能性」『日本語教育』第 73 号、日本語教育学会、pp.1-11
- 星井直子、石井薫（1999）「ラチャパット大学における日本語カリキュラム改訂の動き」『国際交流基金バンコック日本語センター紀要』第 2 号、pp.15-23
- 堀内孜（2005）「タイの教員養成」『世界の教員養成 I アジア編』日本教育大学協会学文社、pp.88-107
- 過去の調査結果（2002 年～2008 年度実施分）

ラチャパットの日本語教育を考える会 問い合わせ先

メールアドレス：rachakai@hotmail.com

WEB 掲示板：http://rachakai.bbs.fc2.com